



▲⑥命の神様 遠野立神(石祠)

御神体は石であり。昔から「命助けの神様」と言われ、生死にかかわる病気の時、一生に一度だけ平癪を願えば、必ず叶えられると言われている。地元では『坂梨弥五助が山森阿蘇神社を勧請した折に建立されたのではないか』と言われている。八つの神様の中でも命にかかる神様として異色の存在である。



▲⑦耳の神様(墓石) 柳川由布大炊助の墓

天正15年(西暦1587年)12月、佐々成政の要請を受け、和仁一族の田中城攻めに参戦した大炊助は、筑後柳川城主・立花宗茂の家人であった。騎馬大将として先頭に立ち、大手門より攻めいく中で、家来から『あぶのうござる!お下がり下され!』と強くとがめられるも、もともと耳の不自由な大炊助には届かず、城中から放たれた矢に胸を射抜かれ討ち死にしたという。それを伝え聞いた村人達は、大炊助を丁重に葬り代々供養を続けてきたことが、後の悲話として語り継がれている。墓前には、火吹き竹が供えられ『耳の神様』として祭られている。



▲⑧手足の神様(石祠)

立山の足手荒神は、その昔六嘉(現在の上益城郡嘉島町)の足手荒神を分霊して当地に祭祀したと言われており、現在も当時のままの状態で安置されている。足手荒神前の小さな池には以前は白い水がにんこんと湧き出していたそうであるが、水量は減ったものの今も白い水が同様に湧き出ている。それを伝える伝承話に『竜神がくれた乳の水』として、今も語り継がれている。足手荒神さんと白い水は、昔から深いかかわりがあり、靈験あらたかな祈願所として、静かなブームを呼んでいる。



▲④性・腰の神様 七郎神(塩井谷神社)

正治2年(西暦1200年)12月4日、坂梨家の祖である坂梨弥五助は、土地鎮護と農耕開拓の守護神として、肥後一の宮阿蘇神社本宮より、御分靈を戴き、この吉地村に下り、山森阿蘇神社を創建したと言われている。その時、供養者の一人として同行してきた坂梨七郎右衛門は、この塩井谷に住居を構え、農耕技術の普及に貢献したと伝えられている。村人達は、七郎右衛門の地域では、毎年農作物の豊作を祈願し、種の繁殖・増強とともに、生むは産むに通じ、子孫繁栄・安産・夫婦和合の神様として、信仰されている。祈願する人は、作りものの男根を奉納する習わしがあり、御願成就のあかつきには、男は白色、女は赤色の布に住所・氏名・年齢を書いてお礼参りをする風習がある。



▲⑤歯の神様 墓石(板碑)

歯の形に良く似た墓石(板碑)は、鎌倉時代から室町時代にかけて造立されたのではないかと推測される。その両脇にある宝筐印塔と五輪塔の存在がそれを示しているが、定かではない。いずれも、先亡者の供養や墓石として作られたものと思われるが、地元では昔から歯の神様として信仰してきた。歯がうずく時には、白砂または米をお供えして参拝する習わしがあり、不思議なことに歯の痛みを鎮めてくれるという日本でも珍しい神様である。



命の神様
开

命の神様
开

性・腰の神様 七郎神(塩井谷神社)

古くから伝わる「身体」の神様。このような神々は、何らかの不思議な現象(効能)が過去にあったからこそ、今もなお、伝えられているのでしょうか。自然の力は、まだ人間にはばかり知れないものが多いのです。

▶①目の神様(岩本宮)

戦国時代肥前の竜造寺軍勢が神尾城(城主大津山家棟)を攻めた時、一人の手負いの武士が、この岸壁の中腹の藤かずらにひっかかり宙吊りになっていたのを小次郎丸の村人達が見つけ下ろしてやったものの、敵の侍と知り怖さのあまり、鎌鋸等で打ちこぼしてしまったという。その武将は岩本と名のったといふ。村人達は、敵将とはいえ惨殺したことを後悔して、この地に手厚く葬り、いつの頃からか小さなお堂が建てられそれを岩本神社と称し、通称『岩本さん』と呼ぶようになった。それ以来村人達は、無病息災・家内安泰の祈願所としてたてまつり、また特に目の病に靈験あらたかな神様として祭るようになったと言われている。



目の神様
开

神八つの神様



▶②イボの神様(自然石)

ここに鎮座している巨石を称して、地元では『いぼ石さん』と呼んでいます。この石は、いぼ取りに効能のある神様として、昔から参詣する人が多く、いぼで悩んでいる人々の祈願所として祭られています。願ひの祈りは、煎った大豆を自分の年齢の数だけ献上し、石の上に患部をすりつける習わしがあり、御願成就の際は、必ずお礼参りをすることになっている。



■八つの神様
町経済課観光係
☎0968-86-3111



▶③胃の神様(石祠)

昔、正月や例祭日には、近所はもちろん遠方からも大勢の参拝者があったと言われています。地元では昔から『胃病に御利益がある神さま』との言い伝えがあり、胃痛の治療祈願の折には、どうようと参道途中の池に入れてお供えする習わしがあったといふ。昔から、胃弱の人が、お参りを続けると不思議にも元気を取り戻すという靈験あらたかな神様の一つである。

行こう 八つの神様に

和水町には、身体にまつわる八つの神様が点在しています。これだけ集中しているのは珍しいことです。健康祈願のご利益めぐりにお出かけください。

